

「観光先進国」日本の実現へ！防災施設の新たな挑戦 日本が世界に誇る防災システム・巨大地下神殿

「首都圏外郭放水路」

本格的な“防災インフラ観光施設”として新たにスタート！

日本初！国の防災施設を官民連携で世界一の観光資源に育てる
「民間運営見学システム」による社会実験が、8月からいよいよ始まります！

「観光先進国」日本の実現へ！政府が掲げる「明日の日本を支える観光ビジョン」は2030年に訪日外国人旅行者数6千万人の達成を目指し、新たな観光コンテンツの開発を推進しています。その柱の1つは「魅力ある公的施設・インフラの大胆な公開・開放」、すなわち「インフラ観光」の推進です。島国である日本は昔から多くの自然災害に見舞われて来ましたが、「インフラ観光」は国民の防災意識の向上、更には世界最高水準を誇る我が国の防災技術を「観光」をベースに全世界に発信する大切な役割を担っています。観光資源の開発により、歴史・文化・食のみならず、新たな視線で日本の強みや技術力を世界に発信していく時代となりました。

首都圏の地底50mを流れる「首都圏外郭放水路」は、**日本が世界に誇る最先端の土木技術を結集して建設された世界最大級の地下河川**です。とりわけ“巨大地下神殿”と称される調圧水槽の壮大なスケールが人気を集めており、米国CNNをはじめ多くの海外メディアでも日本の大胆な洪水対策として紹介され大きな注目を集めています。

この、本格的な“防災インフラ観光施設”としてのポテンシャルを大いに秘めた「首都圏外郭放水路」の魅力を最大限に引き出し、「**日本一のインフラ観光資源**」に育てるべく、**これまでの既成概念にとらわれない大胆な官民連携の取組が新たにスタート！**多くのメディアの皆様のご取材をよろしくお願いいたします。

8月から、防災施設における日本初の試みとして「**民間運営見学システム**」による**社会実験**が始まります！（7月2日より、首都圏外郭放水路 公式HPにて受付開始）



夏の神殿内はとても涼しく
約20度の天然クーラー環境！
ぜひ夏休みにお越し下さい！

(c) JOE NISHIZAWA

民間運営見学システムによる社会実験 概要

◆開催時期：平成30年8月1日(水)から毎日※(土日祝日も開催)

※ 施設点検等により見学会が開催されない日もあります。詳細は予約受付WEBにてご確認ください

◆定員：50名×7回/日（予約制 詳細はWEBにて）

◆開始時間：①10:00 ②11:00 ③12:00 ④13:00 ⑤14:00
⑥15:00 ⑦16:00 （所要時間約50分）

◆見学行程：龍Q館※(1F)→地下神殿→第一立坑→龍Q館(1F) 解散

※ 首都圏外郭放水路「庄和排水機場」内に設置されている外郭放水路の機能や役割を紹介する施設

◆見学料金：お1人様 ~~650円(税込)~~

社会実験記念特別割引価格(8月)

お1人様 500円(税込)

小中学生も同額です

小・中学生は高校生以上の同伴が必要です

未就学児は保護者同伴でも見学会には参加できません

◆予約開始：7月2日(月) 11:00より

◆予約方法：インターネットWEB 首都圏外郭放水路公式HP

(URL：<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/gaikaku/index.html>)

※7月2日から情報揭示

TEL 048-747-0281(月～金曜 9:00～16:30)

◆企画運営：東武トップツアーズ株式会社

今後のスケジュール（詳細は後日記者発表予定）

◆平成30年7月中旬 人数限定マスコミ向け特別取材会 開催

◆平成30年7月下旬 春日部市民向け特別見学会 開催

◆平成30年8月上旬 社会実験開始記念企画（検討中）
（場所：首都圏外郭放水路「龍Q館」周辺）

挑戦1 日本初！大胆なインフラ観光への挑戦

日本初となる防災施設における「民間運営見学システム」を導入し、従来の国が運営して来た見学システムを全面的に見直し、わかりやすい解説とお客様目線での安全で楽しいサービスを目指す社会実験が始まります！

専属の放水路案内プロ集団「地下神殿コンシェルジュ（仮称）」がご案内いたします。

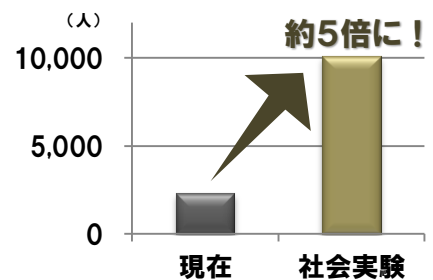


プロ集団による紹介（イメージ）

挑戦2 見学受入れ人数を一挙に約5倍に拡大

（従来月間の見学定員約2,300名を一気に約10,000名に拡大）

従来の見学は平日と土曜日月2回に限られていましたが、土日祝日も営業、見学可能となります。更にこれまでの1日当たりの見学会の回数を2倍以上に増やし、国民の防災意識の向上、更には世界最高水準を誇る我が国の防災技術を「観光」をベースに全世界に発信します。



挑戦3 従来非公開だった地下神殿の大動脈！

迫力の「巨大縦穴」を新たに見学コースに追加

大人気の調圧水槽“地下神殿”に加えて、これまで非公開だった、迫力の「巨大縦穴」第1立坑を新たに開放して見学コースに加わります。

この第1立坑、実にスペースシャトルや自由の女神がすっぽり収まるほどの巨大円筒状の防災施設です。（深さ70m×内径30m）

このスケールをぜひ体感してみてください。



迫力の深さ70mの「巨大縦穴」第1立坑

挑戦4 インバウンドに対応！ 地下神殿の解説は3か国語に対応します（英語・中国語（簡体）・中国語（繁体））

インバウンド観光客の皆様向けに施設の情報を音声や写真でより深く、日本の防災技術をご理解いただくために、3か国語に対応した多言語アプリを導入します。



挑戦5 最先端CG技術で放水路の仕組みを実感！ 新たにARコンテンツを導入

現実では見るできない、洪水が流入してくる調圧水槽の様子を、疑似体験できるARコンテンツを導入します。さらに、見学コースには含まれていない、地下トンネルや流入立坑へ洪水が流入するようすを映像で解説します。

挑戦6 洪水の時だけ！施設稼働中※に限り 特別見学プランをご用意

これまで施設が稼働している時は中止としていた見学ですが、このたび施設稼働中に限定した特別見学プランをご用意しました。

見学開始時に施設稼働中※の場合、通常の見学コースはご案内いただけませんが、その代わりに防災機能を発揮する地下河川の姿を特別にご覧いただけます。

※ 施設の稼働が予想されている場合や、施設の稼働後で安全が確保されていない場合等も含む



稼働中の調圧水槽（地下神殿）

挑戦7 「首都圏外郭放水路」を日本一のインフラ観光資源に！ブランド化

「首都圏外郭放水路」が日本一のインフラ観光資源として地元春日部市の新たな観光名所となるように様々な戦略を展開してまいります。

- 「専用ロゴマーク」の開発（8月目途お披露目予定）
- 「首都圏外郭放水路」オリジナル商品開発
地域経済の活性化に向けて地域産業に根ざした様々な商品を開発していく予定（9月以降）
- 見学特典！『首都圏外郭放水路カード（初版）』
人気が高まるダムカードの神殿Ver.が新登場！（8月目途お披露目予定）



首都圏外郭放水路カード（イメージ）

挑戦8 期間限定！最寄り駅、東武鉄道アーバンパークライン南桜井駅（春日部市）から無料シャトルバスを運行します

南桜井駅から首都圏外郭放水路まで直通の無料シャトルバス※（定員23名）でのアクセスを可能にして見学者の利便性を向上させます。

※ シャトルバスは、定員により乗車できない場合があります

※ 龍Q館へは、路線バスも運行しています



時刻表は予約受付WEBでご確認いただけます

帰り道に人気の道の駅「庄和」を経由するバスもあります。地元産の新鮮な野菜や果物、春日部ならではの商品や全国各地の名産品を道の駅「庄和」で購入することができます。



「見学会参加者には、特別にサービスをご用意して、お待ちしております。」

アクセスマップ

所在地：埼玉県春日部市上金崎720



発表記者クラブ

竹芝記者クラブ
神奈川建設記者会
千葉県政記者会
埼玉県政記者クラブ
都庁記者クラブ
春日部記者クラブ

問い合わせ先

【取材受付先】

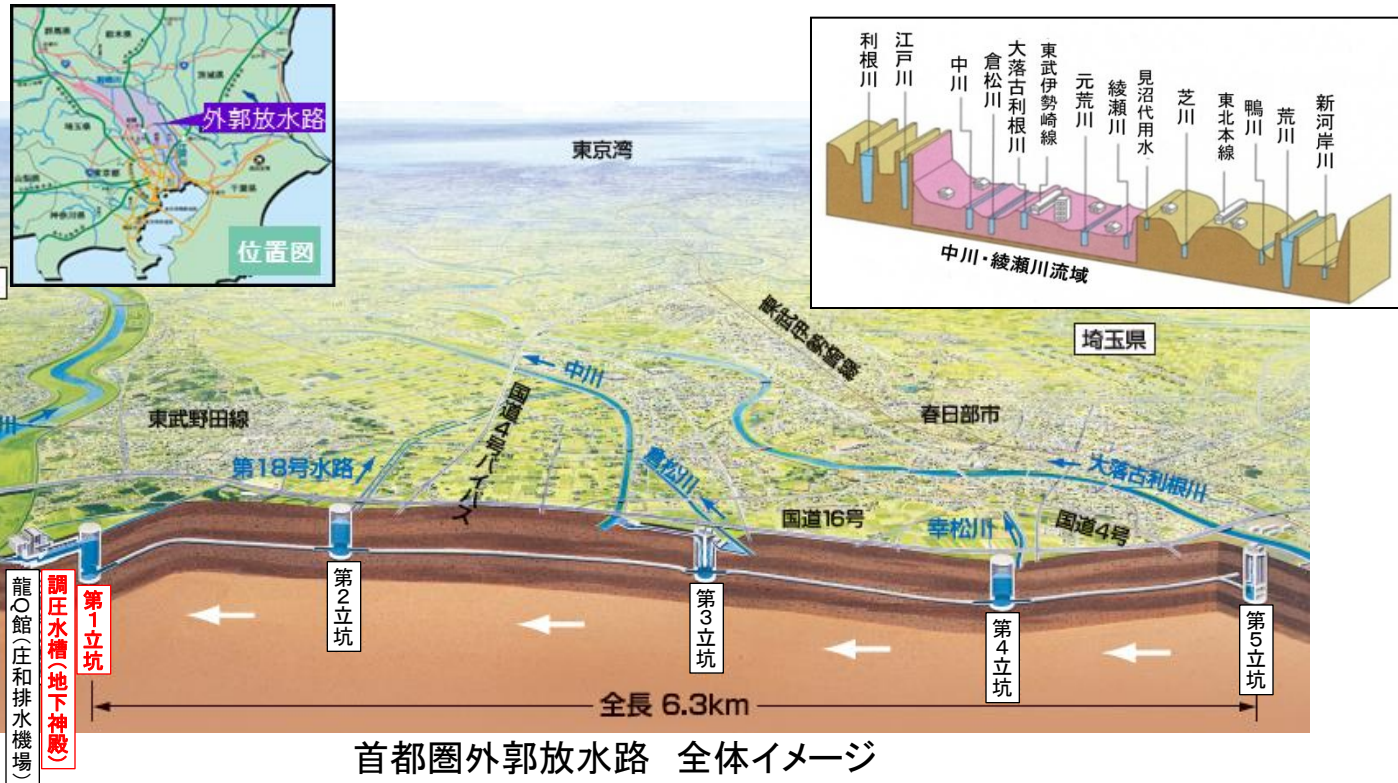
東武トップアース株式会社
経営戦略部 広報担当 野澤 実（のざわ みのもる）
横田 昭仁（よこた あきひと）
電話 03-3622-6215（直通）

国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所
副 所 長 荒井 満（あらい みつる）
建設専門官 樋口 哲也（ひぐち てつや）
電話 04-7125-7311（代表） 04-7125-7317（調査課）

春日部市役所
環境経済部 観光振興課長 添田 智則（そえた ともり）
電話 048-736-1111（代表）（内線7760）
建設部 河川課長 畑岸 清一郎（はたぎし せいいちろう）
電話 048-736-1111（代表）（内線3460）

首都圏の地底50mを流れる世界最大級の地下河川「首都圏外郭放水路」

- 水がたまりやすい地形、急激な都市化により、浸水被害が頻発してきた中川・綾瀬川流域の浸水被害軽減を目的に整備
- 国道16号の地下50mに建設された延長6.3km・内径10mの地下トンネル、5つの立坑、調圧水槽（地下神殿）、排水ポンプ等で構成

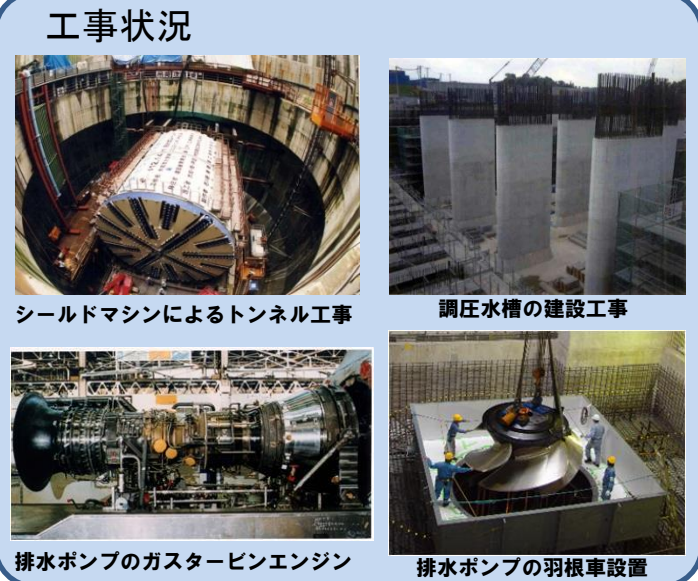


- 平成4年度に事業着手、平成14年6月に3.3km区間で部分通水、平成18年6月に大落古利根川から江戸川までの6.3km全区間で通水開始

【事業経緯】

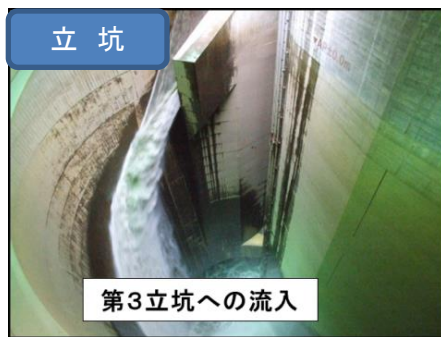
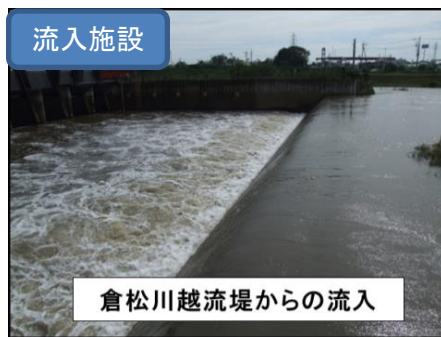
平成4年度 事業着手
平成5年3月 工事着手
平成14年6月 部分通水開始（L＝3.3km）
平成18年6月 全区間で通水開始（L＝6.3km）

【施設概要】



首都圏外郭放水路の稼働状況

- 首都圏外郭放水路は、部分通水から111回の貯留を行い、66回排水機場を稼働させ中川流域の洪水を江戸川へ排水（平成30年5月13日現在）。

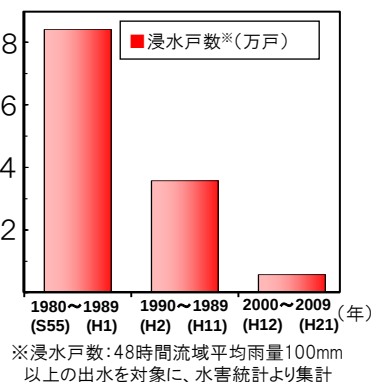


首都圏外郭放水路の整備など水害の軽減により産業立地を促進

- 首都圏外郭放水路等の整備により、綾瀬川・中川流域では浸水戸数が激減。



1991(H3)年の水害の様子(春日部駅前)



- 「水害に強い都市基盤」を広報し企業を誘致し、物流倉庫やショッピングセンター等が立地。

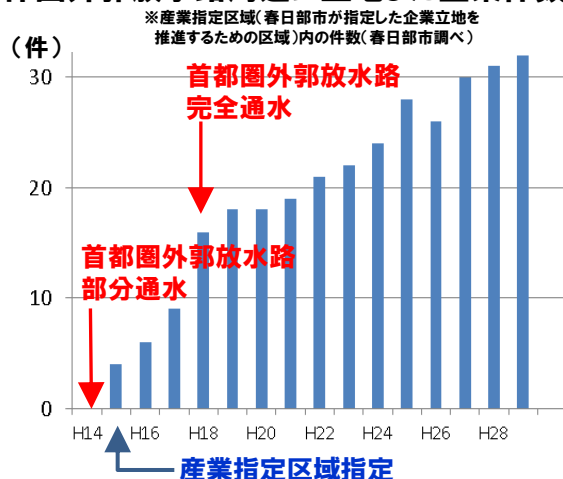


「水害に強い都市基盤」を広報し企業を誘致(春日部市HP)



- 首都圏外郭放水路整備後に立地した物流倉庫、ショッピングセンター等
- 首都圏外郭放水路のストック効果を更に高める東埼玉道路の整備促進

首都圏外郭放水路周辺に立地した企業件数※



進出企業からは、「水害に強いまちであると実感」などの声(春日部市HPより)



外郭放水路が通っているため、水害の発生の危険性がないと考え災害にも強いまちであると実感しております。
(株)玉俊工業所
<流通>